



オオクワガタはどんなところで見つけるの

夜、クヌギやコナラなどの木にくる

夜、かい中電燈などの明かりをてらして、クヌギやコナラなどの木を、見て回ってみましょう。木からにじみ出た樹液に集まっている虫の中に、オオクワガタが見られるかもしれません。数が少ない種類ですので、めったには見つかりません。

黒砂糖とお酒で作る人工の樹液

虫の集まる樹液が出ている木は、それほど、数が多くありません。そこで、人工のえさ場を作ってみましょう。黒砂糖をお酒（日本酒でもワインでも何でもよい）にとかしたどろっとした液を、虫の集まりそうな木に、昼間のうちにぬりつけておきます。夜、ぬったところを見て回ると、カブトムシやクワガタムシの仲間が、たくさん集まっています。

昼間はくさった木や落ち葉の中

カブトムシやクワガタムシの成虫は、昼間はクヌギなどの木のくぼみや、くさった木の中にかくれています。幼虫は、くさった木や落ち葉を食べて育ちます。ですから、くさった木や、落ち葉のたまった場所をさがしてほり返せば、幼虫が見つかります。林や山の中などにある、製材所の木のけずりかすなどをすててある所などでよく見つかります。

オオクワガタは全国に

オオクワガタは、日本全国にすんでいます。しかし、数はたいへん少ない種類です。体長は、オスが、32～72ミリメートル、メスが、36～41ミリメートルです。日本のクワガタムシの中では、最大です。（監修・中山 周平）

